2025年5月吉日

会員各位

生産性向上支援訓練の御案内

茨城県シートメタル工業会
青年部代表　飯島　弘一郎

拝啓　薫風頃　会員各位におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、茨城職業能力開発促進センター様支援の下実施させていただいております、生産性向上を目的にした人材育成教育、『生産性向上支援訓練』を本年度も開催することといたします。
内容といたしましては、会員企業の生産性向上を目的とし、今回第８回目として**成果を上げる業務改善**　講習を実施いたします。
ご多忙とは存じますが、多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。

敬具

日　　程　　２０２５年８月２１日（木）

予　　定　　受付集合　　8時50分
セミナー　　9時00分～17時00分

セミナー　**成果を上げる業務改善**

生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。

講　　師　　パナソニック　エレクトリックワークス創研㈱
講師　佐伯　清　先生

松下電器産業株式会社入社、生産技術本部　生産技術研究所にて、新規商品の工法設備開発や工場エンジニアリング活動に従事。その後レーザ加工、機械加工等のプロセス加工部門責任者や生産管理分野の研修において講師を担当。
人事研修、技能訓練、学校教育等を担当する部門責任者として、人材育成マネジメントに従事。生産部門の人材育成のエキスパート。

会　　場　　①㈱アマダ　水戸営業所　会議室
茨城県水戸市千波町2303-1　　TEL　029-305-3866

受講対象　　リーダー、リーダー候補クラスの社員

人数　15名　　機構の委託事業として、10名以上20名以下の募集になります。
（先着順、定員になり次第締め切らさせていただきます）

受講料　無料　　（講習時に２０センチ以上のスケールと電卓、筆記用具を持参願います）
※機構の委託事業のため申し込み後のキャンセルは３週間前までにお願いします。
※昼食は工業会負担で用意します。

申込締切　２０２５年７月１１日（金）必着でお願いします。
（テキスト手配の関係上よろしくお願いします）

会社名	従業員数　人	
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別
ふりがな 受講者氏名	年齢	性別

２０２５年７月１１日（金）までにメール又はFAXにて返信お願いします。

茨城県シートメタル工業会事務局　担当　新井
TEL 029-305-3866 /FAX 029-305-3837

1. 研修のねらい・目的・育成目標

研修のねらい

生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。

研修の目的

■職場の問題・課題に気づき、業務における改善の必要性を理解する

■気づいた問題・課題の具体的な改善の進め方を習得する

■論理的に深く思考し、万策を考え、重要な意思決定のための判断基軸を身につける

■チームワークやコミュニケーションの取り方などの実践的な手法を学ぶ

育成目標

＜育成方向のコンセプト＞

自律型社員の育成

■ 自部門のありたい姿（ビジョン）とその実現のためのシナリオが描ける

■ 組織の目標達成に向けて関係者を巻き込み、動機づけできる

■ 困難な状況でも、粘り強く取組み、成果を出すことができる

以上のことを担当分野だけでなく、関連部署レベルの視点で考え、行動できる

©Panasonic Electric Works Business Consulting & Training Co.,Ltd.2025

2. 研修内容

1. 企業組織と生産活動

企業を取り巻く環境変化とそれに対応するための‘ものづくり’に対する心構えと基礎的な考え方、「業務改善」の必要性と目的について学びます。

2. 自律型社員の心構えと役割

ビジネス意識とは？　私たちの役割とは？　会社が皆さんに期待することとは？
仕事の進め方の基本を通じて、会社に貢献する自律型社員とは何かを学びます。

3. 問題発見と課題解決

問題と課題の違いとは？　問題発見の視点と課題解決の基本プロセスの理解を通じて、生産現場における実践的な問題解決の進め方について習得します。

4. 現場の見える化

“真の見える化”とは何か？　「目で見る管理」によって、工程のロス削減やムダ排除を行い、生産性向上と現場力強化を目指すものづくりについて、5Sと原価をベースに学びます。

5. ムダの発見と解決方法

「7つのムダ」「3ム」などムダとは何か理解した上で、IE手法を用いたムダの抽出方法とその改善発想手法を駆使して、ムダの解決を目指す進め方について演習を通して会得します。

6. 製造現場での改善活動

QCストーリーによる改善活動の継続的な取り組み方について基本的な考え方を学び、自職場の改善課題への適用の仕方をグループ討論を通して実践習得します。

©Panasonic Electric Works Business Consulting & Training Co.,Ltd.2025

3. 研修のカリキュラム

AM

9:00 **1. 業務改善と業務の可視化**

(1) 業務改善の必要性と考え方

- 企業を取り巻く環境変化
- 会社の役割と使命　【演習1】
- なぜ改善が必要なのか
- 仕事の進め方の基本
- 生産活動の基本と改善
- 自職場問題のQCD分析　【演習2】

(2) 業務改善の見える化

- 見える化とは
- 5Sの本質および進め方
- 原価の見える化　【演習3】

12:00　〈昼休憩〉

PM

13:00 **2. 業務改善手法**

(1) 問題発見・解決

- 問題発見と解決手法
- ロジックツリー手法活用　【演習4】

(2) 現状のムダに気づく

- ムダとは何か、ムダに気づく
- IE分析手法を用いた現状分析
- ムダをなくす改善発想方法　【演習5】

(3) 改善活動の基本

- 取り組みの基本姿勢と着眼ポイント

(4) 効果的な改善活動

- QCストーリーによる継続改善　【演習6】

17:00　〈終了〉

©Panasonic Electric Works Business Consulting & Training Co.,Ltd.2025